

2

問 題 文

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

1

3

(今井むつみ『学力喪失—認知科学による回復への道筋』岩波書店、2024年より。なお、出題の都合上一部を改変している)

注 たつじんテスト…生徒の正答率をはかるだけではなく、知的活動の前提となる考え方が身についているか、個々の思考にどのような特徴があるかを測るテストとして、広島県教育委員会の依頼により、本文の筆者も参加したプロジェクトで作成されたテスト。

4

問1 「記号接地」とは何か。本文中の「いちご」についての記述を参照して100字程度で説明しなさい。

問2 高校の教師には、授業を行う、成績をつける、生活指導をする、進路相談にのめるなどの生徒と向き合う仕事がある。しかし、そのためには、授業計画や生徒の成績をはじめとする個人情報、進学情報など膨大な情報を管理し、分析する仕事もせねばならない。

もし仮に、AIがあなたの担当教師に替わったとする。AIは情報管理や分析はお手の物で、最新の生成AIなら対話のようなこともこなすが、他方で問題文にあるような弱点を持っている。このようなAI教師は、どのような効果をあげ、他方でどのような問題をもたらすと予想されるだろうか。自由に事例をあげながら、500字～600字で述べなさい。